

製品安全データシート																										
酸化チタン(Titanium Dioxide)																										
	作成日: 2008年5月1日 改定日: 2012年8月29日 改訂日: 2015年4月28日 改訂日: 2016年6月15日																									
1 化学物質等及び会社情報																										
化学物質等の名称	酸化チタン																									
製品名	TRONOX 全グレード(CR-470, CR-800E, CR-813, CR-822, CR-826, CR-828, CR-834, 8120, CR-880, 8300, 8400, 8410, 8670, 8800, 8870, 8140, 41J)																									
生産会社	Tronox LLC																									
住所	3301 NW 150th Street, Oklahoma City, OK 73134, USA																									
電話	+1-405-775-5000																									
緊急電話	+1-7600-476-33960																									
輸入及び国内販売会社	サンケミカル株式会社																									
住所	東京都中央区日本橋小伝馬町2-4三報ビル8F																									
電話	03-3661-6681																									
FAX	03-3661-7055																									
E-mail	yano@sun-chemical.co.jp																									
用途及び使用上の制限	塗料、印刷インキ、化粧品、プラスチック、紙、繊維、セラミック用途用の白色顔料																									
2 危険有害性の要約																										
GHS 分類	GHS分類基準に該当しない。																									
GHSラベル要素	絵表示なし。																									
注意喚起語なし。	危険有害性情報本製品は、分類基準に該当しない。																									
注意書き																										
応急措置	安全対策産業衛生に気を配る。																									
保管	皮膚を水で十分に洗い流す。																									
廃棄	保管密閉容器に保管すること。 廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。																									
3. 組成、成分情報																										
化学物質・混合物の区別	混合物																									
官報公示整理番号																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成分</th> <th>CAS番号</th> <th>化審法</th> <th>安衛法</th> <th>含有量(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化チタン</td> <td>13463-67-7</td> <td>(1)-558</td> <td>(1)-558</td> <td>80-97</td> </tr> <tr> <td>二酸化ケイ素</td> <td>7631-86-9</td> <td>(1)-548</td> <td>(1)-548</td> <td>0-15</td> </tr> <tr> <td>水酸化アルミニウム</td> <td>21645-51-2</td> <td>(1)-17</td> <td>(1)-17</td> <td>0-10</td> </tr> <tr> <td>二酸化ジルコニウム</td> <td>1314-23-4</td> <td>(1)-563</td> <td>(1)-563</td> <td>0-2</td> </tr> </tbody> </table>	成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量(%)	二酸化チタン	13463-67-7	(1)-558	(1)-558	80-97	二酸化ケイ素	7631-86-9	(1)-548	(1)-548	0-15	水酸化アルミニウム	21645-51-2	(1)-17	(1)-17	0-10	二酸化ジルコニウム	1314-23-4	(1)-563	(1)-563	0-2
成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量(%)																						
二酸化チタン	13463-67-7	(1)-558	(1)-558	80-97																						
二酸化ケイ素	7631-86-9	(1)-548	(1)-548	0-15																						
水酸化アルミニウム	21645-51-2	(1)-17	(1)-17	0-10																						
二酸化ジルコニウム	1314-23-4	(1)-563	(1)-563	0-2																						
別名	CR-470, CR-800E, CR-813, CR-822, CR-826, CR-828, CR-834, 8120, CR-880, 8300, 8400, 8410, 8670, 8800, 8870, 8140, 41J.																									
化学式	O2-Ti (13463-67-7), O2Si (7631-86-9), Al-H3-O3 (21645-51-2), O2Zr (1314-23-4)																									
組成情報	リストアップされた成分は、化学反応して非分離性の色素を形成する。最終製品中の二酸化ケイ素は、非晶質シリカである。																									
4. 応急措置																										
吸入した場合	空気の新鮮な場所へ移動する。不快感が続く場合は医師の診察を受ける。																									
皮膚に付着した場合	皮膚を水で十分に洗い流す。刺激が強まったり続いたりする場合は、医師の診察を受ける。																									
眼に入った場合	目を擦ってはならない。直ちに水で目を洗う。全てのコンタクトレンズ類を取り除き、少なくとも15分間流水で目を洗い流し続ける。瞼を持ち上げ、眼の表面全体と瞼を水で確実に洗浄する。直ちに治療を受ける。																									
飲み込んだ場合	口を十分にゆすぐ。医師の指示なしに無理に吐かせないこと。意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。大量に飲み込んだ場合は、直ちに毒物管理センターに連絡する。																									
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	粉塵は気道、皮膚、眼を刺激することがある。 咳。長期間にわたる頻繁な粉塵の吸入は肺疾患を引き起こすリスクを増大させる。																									
応急措置をする者の保護	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。																									
医師に対する特別な注意事項	症状にあった治療を施す。																									

5. 火災時の措置			
消火剤	周辺の物質の火災に適した消火剤を使う。		
使ってはならない消火剤	規制は知られていない。		
火災時の特有の危険有害性	知見なし。		
消火を行う者の保護	消火作業のための呼吸用保護具の選択: 作業現場に示されている一般的な火災注意事項に従う。火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。		
一般的な火災の危険性	製品は可燃性ではありません。		
6. 漏出時の措置			
人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	粉塵の吸入および皮膚、眼との接触を避ける。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。		
環境に対する注意事項	安全を確認してから、もれやこぼれを止める。製品で水を汚染しない。		
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉塵の生成を避ける。粒子フィルター付きの粉塵専用電気掃除機を用いて回収するか、または注意深く掃いて密閉容器に回収する。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。		
二次災害の防止策	環境への放出を避けること。		
7. 取扱い及び保管上の注意			
取扱い			
技術的対策(局所排気、全体換気等)	粉塵の生成を避ける。適切な換気を行う。		
安全取扱い注意事項	粉塵の吸入および皮膚、眼との接触を避ける。本SDS第8項で推奨されている個人用保護具を使用すること。取扱い後はよく洗うこと。		
適切な衛生対策	粉じんを吸入しないこと。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。		
保管			
安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。二酸化チタンは保管中に分解しない安定な化合物であるが、不適切に保管すると環境中から水分を吸収し、製品の性能に影響をおよぼすことがある。雨や濡れた床から離れた、室内の乾燥した場所に保管すること。積み荷を受け取ったら、先入れ先出しで使用する。		
安全な容器包装材料	元の容器に保管する。		
8. 暴露防止及び保護措置			
暴露限界値			
日本産業衛生学会—許容濃度			
成分	タイプ	数値	形状
二酸化チタン (CAS 13463-67-7)	TWA	4 mg/m ³	総粉塵
ACGIH		1 mg/m ³	呼吸性粉塵
成分	タイプ	数値	形状
二酸化ジルコニウム (CAS 1314-23-4)	STEL	10 mg/m ³	
	TWA	5 mg/m ³	
二酸化チタン (CAS 13463-67-7)	TWA	10 mg/m ³	
水酸化アルミニウム (CAS 21645-51-2)	TWA	1 mg/m ³	吸入性画分。
設備対策	空中の粉塵を管理するために換気が必要である。適切な換気を行う。職業暴露限界値を守り、粉塵吸入のリスクを最小限に抑える。		
保護具			
呼吸器の保護具	換気が十分でない場合、または粉じんを吸入してしまう危険がある場合、適切な防じんフィルタ付き呼吸用保護具を使用すること。現場責任者のアドバイスを求める。		
手の保護具	適切な手袋を着用する。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。		
目の保護具	眼への接触の危険性がある場合は、防じん型の安全ゴーグルを着用する。		
皮膚及び身体の保護具	繰り返しまたは長時間の皮膚接触を防止するため適切な保護衣を着用する。		

9. 物理的及び化学的性質

外観	Beyaz toz.
物理的状態	固体。
形状	粉末。
色	白色。
臭い	無臭。
臭気閾値	該当しない。
pH	該当しない。
融点・凝固点	1830 - 1850 ° C (3326 - 3362 ° F)
沸点, 初留点及び沸騰範囲	2500 - 3000 ° C (4532 - 5432 ° F)
引火点	データなし。
燃焼性(固体, ガス)	該当しない。
燃焼又は爆発範囲	
燃焼又は爆発範囲一下限(%)	データなし。
燃焼又は爆発範囲一上限(%)	データなし。
爆発下限界(%)	データなし。
爆発上限界(%)	データなし。
蒸気圧	データなし。
蒸気密度	データなし。
比重4.1 概略値(@ 20° C)	
溶解度	
水溶性	水に不溶。
n-オクタノール/水分係数	該当しない。
自然発火温度(発火点)	データなし。
分解温度	データなし。
粘度(粘性率)	該当しない。
その他の情報	
かさ密度	600 kg/m ³ 概略値(@ 20° C)
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	危険有害性の重合は発生しない。
避けるべき条件	粉塵の生成を避ける。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性 飲み込んだ場合、不快感を起すことがある。

成分	種	試験結果
水酸化アルミニウム (CAS 21645-51-2)		
急性経口		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性 粉塵は皮膚を刺激することがある。湿ったあるいは濡れた皮膚と接触すると皮膚に刺激が起こる。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 粉塵は眼を刺激することがある。眼に粉塵が入った場合：投与されたヒトが涙流、発赤、不快感を経験することがある。

呼吸器または皮膚の感作

呼吸器感作性	知見なし。
皮膚感作性	皮膚に対する感作性はない。

発がん性 発がんのおそれの疑い。IARCは、二酸化チタン(TiO₂)を「2B ヒトへの発がんの可能性」に分類した。しかし、発がん性の唯一の証拠は非常に高濃度に暴露した齧歯動物におけるものである。米国および欧州における、二酸化チタン労働者を対象とした2つの大規模な疫学的研究からは、肺がんリスクの上昇は証明されなかった。Boffettaその他、欧州における二酸化チタン製造業に雇用された労働者の死亡率。Cancer Causes Control. 2004 Sep;15(7): 697-706。Fryzekその他、米国における二酸化チタン製造労働者同齡集団の死亡率に関する研究。J Occup Environ Med. 2003 Apr;45(4): 400-9。ヒトに対する発がんリスクの評価に関するIARC研究論文。IARC Monographs, Volume 93 (Summary)

ACGIH発がん性物質

- 二酸化ジルコニウム (CAS 1314-23-4) A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
- 二酸化チタン (CAS 13463-67-7) A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
- 水酸化アルミニウム (CAS 21645-51-2) A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質

IARC発がん性評価モノグラフ	
二酸化ケイ素 (CAS 7631-86-9) 3 ヒトへの発がん性を分類できない。 二酸化チタン (CAS 13463-67-7) 2B ヒトに発がん性の可能性がある。	
生殖毒性	知見なし。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	知見なし。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	知見なし。
吸引性呼吸器有害性	区分外。
その他の情報	健康に対する急性または慢性的な影響に関して、その他の記録はない。
12. 環境影響情報	
生態毒性	この製品は環境に対して有害であるとは予想されない。
残留性/分解性	この製品の分解性についてはデータがない。
生体蓄積性	この製品は水溶解性が低いので、生体蓄積性は大きくないと予想される。
土壌中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データなし。
他の有害影響	未確定。
13. 廃棄上の注意	
現地の規定に従い、処分する。	
残留性廃棄物	現地の規定に従い、処分する。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。
地域の廃棄規制	本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。
14. 輸送上の注意	
IATA	危険物には該当しない。
IMDG	危険物には該当しない。
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	該当しない。
15. 適用法令	
労働安全衛生法	
通知対象物	シリカ5.0 - 15 酸化チタン(IV) 87 - 97 ジルコニウム化合物0 - 2.0
表示対象物	シリカ5.0 - 15 酸化チタン(IV) 87 - 97 ジルコニウム化合物0 - 2.0
毒物及び劇物取締法	
特定毒物	該当せず。
毒物	該当せず。
劇物	該当せず。
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	
第一種特定化学物質	該当せず。
第二種特定化学物質	該当せず。
監視化学物質	該当せず。
優先評価化学物質	該当せず。
届出不要物質	SILICON DIOXIDE 酸化チタン(IV)
化学物質排出把握管理促進法	
特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
消防法	消防法の危険物に該当しない。
船舶安全法・危規則	該当せず。

航空法・施行規則		該当せず。
火薬類取締法		該当せず。
海洋汚染防止法	酸化チタン 二酸化けい素	Z類 海洋環境の保全の見地から有害でない物質
16. その他の情報		
引用文献	HSDB® - Hazardous Substances Data Bank IARC発がん性評価モノグラフ	
シート情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。		
<p>ナノ粒子情報- この製品の平均一次粒子径はISO/TC 229に記載のナノ粒子径の範囲より大きいため、工業ナノ粒子またはナノ材料とはみなされません。他の粒子材料と同様に、粒子径には平均を中心としたばらつきがあるため、そのごく一部がナノ粒子の定義に含まれるおそれがあります。この製品においては、一次粒子径は200~300 nmの範囲である。しかし、この製品の粒子は凝集または集塊してより大きな粒子となる傾向があるため、一次粒子径はこの製品の供給時の粒径を表すものではない。</p>		
前版より改訂された項目:	前版より改訂された項目: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16	